

Effective Collaboration

コラボレーションの質を高める

— 人と環境にやさしい空間創造 —



KUROGANE



Steelcase®
Authorized Dealer

働き方の変化



働き方や働く人の価値観の変化。過去に経験したことのない大改革に直面し、オフィスの在り方やコラボレーション方法が大きく変わろうとしています。

ネットでの時間が増えリアルな機会が減り人間的関わりが希薄なっています。テクノロジーの進歩によって、いつでもどこでも仕事ができるようになった反面、人間性の喪失といった難題が存在しています。これからのAI時代における企業の課題は**つながりや居場所、信頼関係に基づくコミュニティ意識を育む環境を創出していく必要**があります。

コラボレーションの種類

情報型： **情報の共有**や**業務調整**

評価型： **選択肢の検討**と**意志決定**

生成型： **今までにないアイデアの生成**と**複雑な問題解決**



ハイブリッドコラボレーションの課題



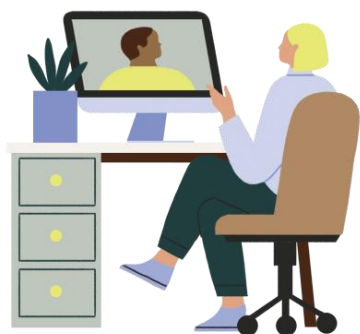
情報型と評価型コラボレーションは、WEBを介して簡単に行うことができます。しかし、通常的环境でも難しい生成型コラボレーションは、WEB環境となるとそのハードルはより高くなります。WEB会議を経験している多くの人が、**コンテンツ共有の際に表情や視線、間合いや空気感など非言語メッセージを読みとるのに苦労**をしています。

人は五感を駆使して会話をしています。**相手の視線、顔色、声のトーン、表情、仕草を暗黙に感知し脳が処理を行い会話**が**成立します**。しかし、WEB会議では五感が捉えられにくく会話が成立しにくいです。よく言われる「ZOOM疲れ」です。**多くの視覚的情報が限られるために脳がフル活動し、通常よりも疲れ易くなる**と言われています。

これから必要な場

人が集い、共有し、プレストし、コラボレーションする多種多様なスペース。創造性を促し、イノベーションを生み出す「場」が必要です。

公平に会議に集中できる環境



今日のコラボレーションはリアルとリモート両方の参加者が混在するハイブリッド型が多く、このことを意識したスペースの創出が必要です。リアルとリモート、参加人数、コラボレーションタイプなど多種多様に対応する設計、リアル、リモート両方の参加者にとって公平に会議に集中できる環境構築をすることで効果的なコラボレーションが可能になります。

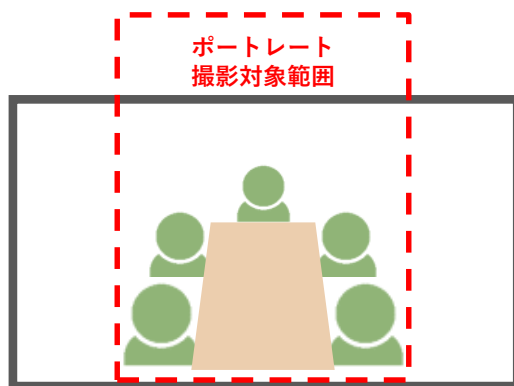
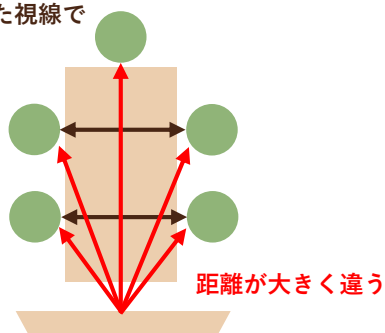
四角い家具や直線的なレイアウト配置から、扇型形状など曲線を生かした家具を利用することで、両端の人も含め、部屋の全員を無理なく映像に収めることができるため、リモート参加者は全員の表情や仕草から細かな反応を読み取ることができます。リアルとリモート参加者全員が目線を合わせながら対話ができ、公平かつ親しみがある印象を与えます。最上のWEB体験には使用するミーティングテーブル形状が今後は極めて重要な要素になります。

ポートレートからランドスケープ

ポートレート（肖像画）からランドスケープ（風景画）にシフトすることで、カメラの両サイドにいる人々が互いに見やすく、また見られやすくなります。部屋にいる全員がカメラに対して等距離にいることになります。リモートでの参加者は、表情やボディランゲージを確認しやすくなります。

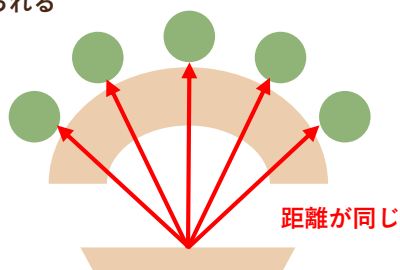
直線

リアル側は向き合った視線で
リモート側を見ない



曲線

リアルとリモートの参加者全員が
視線を合わせられる





POINT 01

ポートレート（肖像画）から ランドスケープ（風景画）へ

ポートレート（短い壁に向いている）からランドスケープ（長い壁に向いている）にシフトすることで、カメラの両サイドにいる人々が互いに見やすく、また見られやすくなります。**部屋にいる全員がカメラに対して等距離**になることになります。リモートでの参加者は、**表情やボディランゲージを確認しやす**くなります。

POINT 02

コーナーからカーブへ

テーブルが湾曲しているため、室内にいる参加者全員が、**リモートで参加している同僚と目の高さを合わせられるだけでなく、お互いを見ることができます**。目線が合うことで、**会議室内の参加者とリモート参加者の間により公平感**が生まれます。

POINT 03

壁から離れて

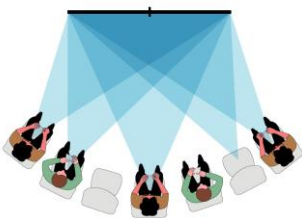
また、テクノロジーを搭載する壁からテーブルを離すことで、**対面参加者とリモート参加者の目線もよく見える**ようになります。

Ocular のテーブル形状は、
Webミーティングに参加する人々にとって重要な3つの視線

- ①人與人
 - ②人とスクリーン
 - ③人とカメラ
- を中心にデザインされています。

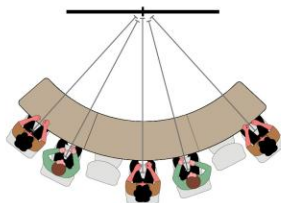


①人與人



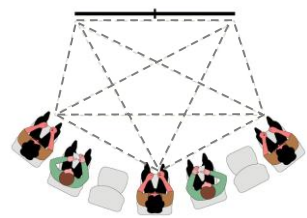
曲率を調整することで、テーブルの形が自然にユーザーの位置となり、より見やすく、より効果的なコラボレーションを実現します。

②人とスクリーン



ユーザーの距離、向き、見る角度を最適化することで、スクリーンの見やすさを向上させ、スクリーンを完全に見えるようにします。

③人とカメラ



それぞれのユーザーの前に妨げるものがないことで、クリアなカメラビューを実現します。

直線から曲線へ



Ocular™ Arcの特徴

1



カーブした形状

テーブルが湾曲しているため、室内にいる参加者全員がリモートで参加している同僚と目の向きを合わせられるだけでなく、お互いを見ることができます。

2



角度のついた脚

前面角がつけられたテーブル脚は、従来のテーブル脚のように足をぶつけることなく、簡単に並んで座ることができます。

3



モデスティ・パネル（目隠しパネル）

テーブルの前面には目隠しパネルが付いていますので、視線はテーブルの上に集中し、会話に集中できます。

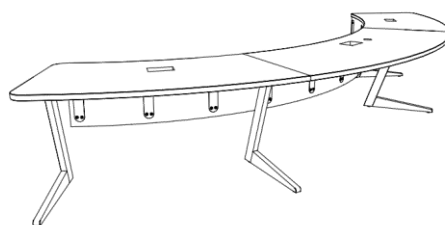


Specification

Arc7 (7名まで着席可能)

寸法: 4813W × 1566D × 745H mm

参考上代※: 860,000円~1,275,000円



Arc4 (4名まで着席可能)

寸法: 3028W × 1032D × 745H mm

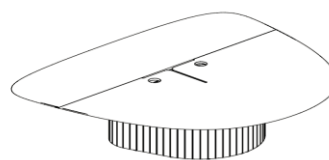
参考上代※: 585,000円~861,000円



Coupe5 (5名まで着席可能)

寸法: 2083W × 1778D × 732H mm

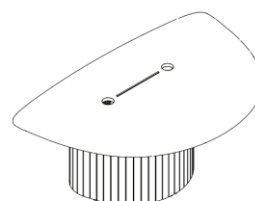
参考上代※: 750,000円~835,000円



Coupe3 (3名まで着席可能)

寸法: 1828W × 1219D × 732H mm

参考上代※: 530,000円~615,000円



※為替により価格は変動します。155円換算

Ocular™
by Steelcase



Steelcase®
AUTHORIZED DEALER



KUROGANE



Homepage



X



Instagram

人と環境にやさしい空間創造 ——
株式会社くろがね工作所

お問い合わせは各営業所までお願いします。

東 京 〒105-0014 東京都港区芝1-10-13 芝日景有楽ビル
TEL. 03-5439-9111 / FAX. 03-5439-9115

札 幌 〒060-0001 札幌市中央区北一条西7丁目3 (北一条第一生命ビルディング)
TEL. 011-281-2373 / FAX. 011-281-2367

名古屋 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3丁目20-27 (御幸ビル)
TEL. 052-253-6985 / FAX. 052-253-6986

大 阪 〒550-0013 大阪市西区新町1丁目4-24 (大阪四ツ橋新町ビル)
TEL. 06-6538-1012 / FAX. 06-6538-7434

福 岡 〒810-0012 福岡市中央区白金1丁目2-21 (Wビルディング渡辺通)
TEL. 092-523-1440 / FAX. 092-523-1442